

株式会社ピリカは、この度就労継続支援 B 型事業所を開設したいと考えています。既存の刺繍部門は昭和 54 年 12 月広島県福山市で事業を開始し、アパレル商品などの刺繍加工で事業を行ってきました。これまで女性が活躍できる場を目指し、役員を含め社員 17 人のうち女性 15 名男性 2 名の会社です。当社の製造の特徴としては企画提案から製造まで一貫して行っています。一般的な刺繍だけでなく、サガラ刺繍、チェーン刺繍、コード刺繍、スパンコール刺繍なども自社で可能です。更に素材についても布帛素材だけでなく、カットソーやニットなど様々な生地に対応可能であるため、同業他社には負けない技術力を持っています。クオリティの高さには定評があり近年では特段の広告宣伝を行わなくても仕事の依頼が継続している状況にあります。取引先には(株)オゾンコミュニティ、ワコマリア、(株)ジョイックスコーポレーションなどがあり、アクアスキュータムなど有名なブランドの刺繍を請負っています。

私の息子は自閉症です。年少の頃から専門家の教育指導を受け、能力は低いができる仕事を一人黙々と最後までやり抜く力、常に自分が持てる力を 100%発揮できることを目標に取り組んできました。しかし、現実には「言葉で指示しても伝わらない」「難しいことができない」などコミュニケーション能力の低さや能力の低さなどを指摘され、本人のできないところ、障害となっている部分を指摘されること多く悔しい思いをしてきました。片方の手が不自由な方に両手で作業できないと言われるように、本人の努力ではどうにもならない部分を指摘されることはとてもつらく、悲しいことです。

障害があっても環境を整えていくことで仕事はできる。障がいが問題ではなく、私たち周りの支援者が活躍できる環境を整えることができていることが問題ということに気づいてほしい。障がいを持つ方が安心して働くことができる環境をつくること。自ら働く意欲を持ち作業に取り組めるようにプログラムを作り、本人のニーズや周りの支援者のニーズを踏まえ社会参加や自立を支援したいという思いが強くなります。このような気持ちから事業を立ち上げたいという気持ちに至りました。

弊社の強みは既存の事業で様々な作業と作業量があることです。そしてその作業は福祉的なものではなく、実際の商品の生産の一環であることです。

作業には内職仕事、軽作業（刺繍をするための準備の作業、仕上げ作業）、刺繍機のオペレーター、事務的作業やメンテナンス作業（清掃作業）などがあります。現在は従業員や外注、内職などでまかっています。これらの作業の一部を B 型の利用者さんにしていただきたいと考えています。様々な作業があるため、その中からその方の現在の能力、理解度、量を調整しながら日々取り組んでいくことが可能です。繰り返し作業していくことで習熟度が上がり、自信がもてるようになり、更に仕事に対しての意欲も増していくと考えられます。

将来的には自社の作業だけでなく、地場産業でもある繊維業（縫製工場など）の軽作業なども受けて地域に貢献していきたいと考えています。また、障がい者が企画し、刺繍加工をして販売していくような主体的な事業展開も考えています。

指導者への支援として、応用行動分析学の先生にコンサルティングをお願いし、定期的に事例研を行い、問題解決と自立・社会参加にむけての研修会行っていきたいと考えております。

弊社のような小さい企業では大きなことは難しいかもしれませんが、今の場所のできることを、知恵を絞り日々努力していきたいと思っております。

能力も理解力も課題も違う障害を持つ方が本人の持てる力を十分に発揮し、目標をもって日々輝いていけるように支援していくこと。支援する側も支援される側もそしてほかの社員もお互いを尊重し成長し続けることができる、そのような共生社会を目指した事業所にしていきたいと考えています。